

令和 4 年度 条例予算特別委員会

主要事業概要

1. 当初予算案の概要

- (1) 令和 4 年度の重要施策 1 頁
- (2) 令和 4 年度の特色ある事業等 2 頁

2. 各事業の概要

(1) 道路整備

- ・ 道路整備アクションプラン 12 頁
- ・ 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近） 13 頁
- ・ 福岡高速 3 号線延伸事業 15 頁
- ・ 自転車活用の推進 17 頁
- ・ 無電柱化の推進 19 頁
- ・ 交通安全対策 21 頁

(2) 河川整備

- ・ 治水対策事業（主要な河川整備） 23 頁

(3) 下水道整備

- ・ 下水道経営計画 25 頁
- ・ 改築更新（下水道施設のアセットマネジメント） 26 頁
- ・ 浸水対策（雨水整備 D.O. プラン 2026） 27 頁
- ・ 浸水対策（雨水整備 レインボープラン 天神） 29 頁
- ・ 地震対策（下水道施設） 31 頁

(参考)

- ・ 道路現況、河川整備状況、下水道普及状況 32 頁
- ・ 道路下水道局における整備予算の推移 33 頁
- ・ 令和 4 年度 主な新規着手・整備完了予定箇所 35 頁

令和 4 年 3 月

道 路 下 水 道 局

令和4年度 道路下水道局 重要施策

道路下水道局 当初予算 総括表

(単位：百万円)

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	前年度比較 (A-B)	対前年比 (A/B)
一 般 会 計	47,650	45,576	2,074	104.6%
道 路	25,695	23,684	2,011	108.5%
河 川	1,782	1,633	149	109.1%
下水道事業 負担金等	20,172	20,259	△ 87	99.6%
下水道事業会計	112,394	118,429	△ 6,035	94.9%

※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。



道路整備

令和4年度
(千円)

令和3年度
(千円)

対前年比

【道路整備アクションプラン2024（R3～R6）、福岡市自転車活用推進計画（R3～R6）に基づき事業を実施】

○ 幹線道路整備	2,050,779	(3,682,189)	55.7 %
・福岡高速3号線延伸 ・都市計画道路長尾橋本線等の整備・無電柱化の推進 ・天神通線の整備 等			
○ 生活道路等整備	3,402,330	(2,598,001)	131.0 %
・市民生活に密着した道路拡幅や側溝整備 等 ・海辺を活かした観光振興に向けた道づくり ・博多旧市街プロジェクト～歴史・文化に配慮した道づくり～ ・天神ビッグバンの奥座敷（西中洲）～情緒ある路地空間の創出～ ・FitnessCityプロジェクト～潤い豊かで自然と歩きたくなる歩行空間の形成～			
○ 交通安全施設整備	5,185,241	(5,029,565)	103.1 %
・道路のバリアフリー化、通学路等の安全対策、ベンチ設置、自転車通行空間、無電柱化、駐輪場整備、直営灯LED化、ビッグデータを活用した交通安全対策の検討 等			
○ 連続立体交差事業	1,641,497	(684,762)	239.7 %
・西鉄天神大牟田線（雑餉隈駅付近）			
○ 直轄工事費負担金	689,000	(689,000)	100.0 %
・国道202号 等			
○ 道路施設のアセットマネジメント	3,721,737	(2,891,532)	128.7 %
・道路アセットマネジメント、橋梁アセットマネジメント 等			

第9次 福岡市基本計画

生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す

道路下水道局 運営方針

市民の安全・安心を守り 都市の魅力に磨きをかける



河川整備

令和4年度
(千円)

令和3年度
(千円)

対前年比

○ 治水対策	623,490	(724,056)	86.1 %
・都市基盤河川及び準用河川の改修等（周船寺川、水崎川、金屑川、香椎川等）			
○ 局地的豪雨対策	27,000	(15,000)	180.0 %
・護岸の改良や河床の洗掘防止等（大谷川）			
○ 環境整備	11,000	(30,000)	36.7 %
・水辺空間を活用したうるおいや親しみのある整備（名柄川）			
○ 河川施設のアセットマネジメント	446,209	(270,933)	164.7 %
・排水機場などのアセットマネジメント（上牟田川排水機場 等）			



下水道整備

令和4年度
(千円)

令和3年度
(千円)

対前年比

【下水道経営計画2024（R3～R6）に基づき事業を実施】

○ 浸水対策	4,957,500	(4,852,588)	102.2 %
・雨水管の整備（中部6号幹線、中部8号幹線） 等			
○ 地震対策	2,665,000	(2,907,880)	91.6 %
・下水管の耐震化（和白唐の原汚水幹線） 等			
○ 未整備区域の解消	2,160,600	(2,206,400)	97.9 %
・下水管の整備（香椎照葉 等）			
○ 合流式下水道の改善	552,000	(980,065)	56.3 %
・浸水対策と連携した浸透側溝整備（天神周辺地区） 等			
○ 再生水利用	245,000	(339,000)	72.3 %
・再生水管の整備（箱崎） 等			
○ 下水道施設のアセットマネジメント	14,259,682	(16,110,147)	88.5 %
・下水管や水処理センター等のアセットマネジメント（城西第2ポンプ場、東部水処理センター 等）			

特色ある事業：都市の成長

1 都心部の機能強化と魅力づくり



都心部である天神地区、博多駅周辺地区におけるまちづくりと連携し、それぞれの地区の特性に応じた道路空間の整備に取り組みます。

① はかた駅前通りの再整備

自転車通行空間の確保や、ゆとりある快適で魅力あふれる歩行空間を創出するため、はかた駅前通りの再整備に取り組みます。

<令和4年度完了予定>



予算 657,380千円
(道路計画課)



② 博多旧市街プロジェクト ～歴史・文化に配慮した道づくり～

博多部において、価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高めていくプロジェクトに取り組んでいます。歴史資源や名所をつなぎ、趣のある道路として再整備します。

<令和4年度予定箇所>

・市道店屋町318号線（博多通り）（継続）



予算 127,000千円
(道路計画課)



—: R4年度整備予定 —: 整備完了 - -: 整備中

③ 天神通線の整備

天神地区における交通混雑の緩和やバスの定時性確保などを図るため、沿線のまちづくりと一体となって都市計画道路天神通線の整備に取り組みます。



予算 293,300千円
(道路計画課)



④ 天神ビッグバンの奥座敷(西中洲) ～情緒ある路地空間の創出～

西中洲地区の魅力づくりに向けた石畳による道路整備と景観誘導※に取り組めます。

※については、住宅都市局にて計上

<令和4年度予定箇所>

・市道西中洲65号線（新規・完了予定）



予算 58,000千円
(道路計画課)



—: R4年度整備予定 —: 整備完了

⑤ 春吉橋迂回路橋整備事業

春吉橋架替に伴う迂回路橋の高欄整備等に取り組みます。



予算 115,648千円
(道路計画課)

国による春吉橋架替工事状況(R3.12時点)

2 Fukuoka East & West Coast プロジェクト



海辺を活かした観光振興に向けた道づくり

海辺の観光周遊コースの形成に向けて、志賀島・北崎地区の美しい海辺空間としての魅力を最大限高めるため、豊かな自然環境と調和した道路整備に取り組みます。

志賀島：無電柱化（継続）
北 崎：無電柱化（完了予定）



予算 450,750千円
（道路計画課）



3 福岡高速 3 号線延伸事業

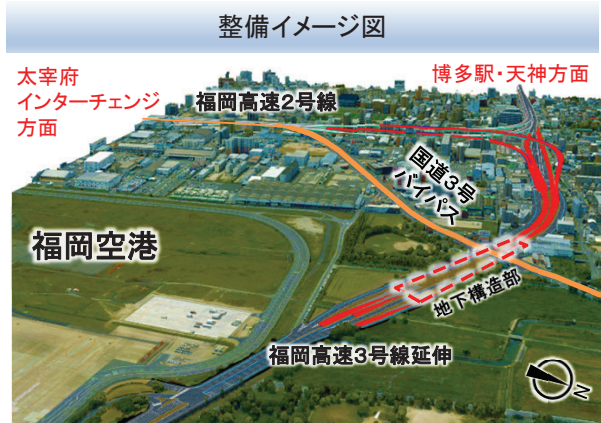


福岡空港へのアクセス強化

福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化を図るため、福岡高速 3 号線延伸事業を推進します。

（事業主体：福岡北九州高速道路公社）

<令和 4 年度主な事業内容>
測量・設計・用地買収等

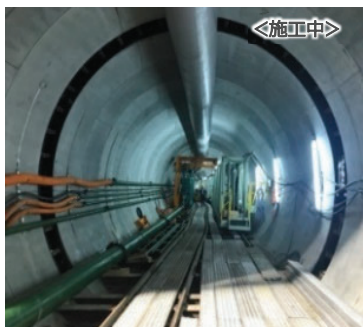


予算621,140千円
（高速道路推進課）

4 都心部の浸水対策の推進

「雨水整備レインボープラン天神」第 2 期事業

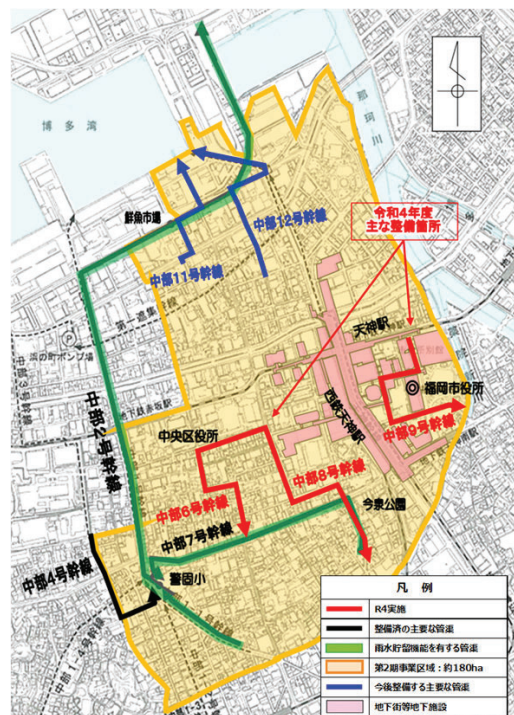
都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業（R1年度～R8年度）に基づき、引き続き、浸水対策に取り組みます。



▲中部 2 号幹線（内径5.00m）



予算2,191,693千円
（下水道事業調整課）



特色ある事業：生活の質の向上

5 自転車活用の推進



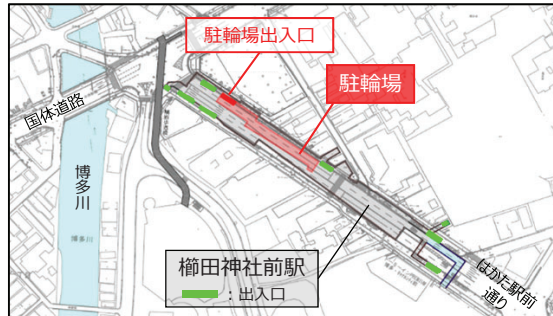
駐輪場整備の推進

予算 419,600千円
(自転車課)

放置自転車対策の一環として、まちづくりの進展の機会を捉え、駐輪場を整備します。

＜令和4年度主な予定箇所＞

- ・地下鉄七隈線 櫛田神社前駅（継続）
駐輪台数：約300台
〈令和5年3月完了予定〉



自転車通行空間整備の推進

予算 327,140千円
(自転車課)

自転車を安全かつ円滑に通行させ、また歩行者と自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間を整備します。

＜令和4年度主な予定箇所＞

- ・市道博多姪浜線（昭和通り）（継続）
- ・市道博多駅草ヶ江線（住吉通り）（新規）
- ・都市計画道路藤崎四箇線（新規）



6 無電柱化の推進



福岡市無電柱化推進計画に基づき、「防災」「安全・円滑な交通確保」「景観形成・観光振興」等の観点から、無電柱化を計画的に推進します。また、低コスト手法を活用するとともに、「ファスト地中化」や「工事ヤードの常設化」の実証実験を行うなど、コスト縮減や事業のスピードアップを図ります。

予算 1,456,781千円
(計画調整課)

＜令和4年度主な予定箇所＞

- ・都市計画道路 国道3号線（継続）
- ・市道清水干隈線（継続）
- ・主要地方道志賀島和白線（継続）

ファスト地中化のイメージ



※災害時の大規模停電につながる電線類を、先行して地中化すること

7 ベンチ設置の推進

【新規】



誰もが休憩できる道路空間の創出に向け、設置可能なすべてのバス停にベンチを設置



予算 66,330千円
(道路計画課)

インクルーシブな社会環境の実現に向けて、ベンチの規格を据置式に見直すことによるコスト削減を図りながら、令和4年度に、市管理道路における設置可能なすべてのバス停にベンチを設置します。

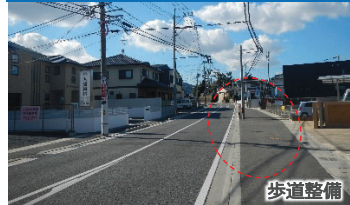


8 交通安全対策

「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、引き続き通学路等の安全対策に取り組むとともに、小学校から半径250m以内の道路においても、誰もが安心して歩ける歩行空間の整備を重点的に取り組みます。また、全国的な交通事故の状況を踏まえ、引き続き交差点等の交通安全対策を実施します。さらに、車両走行情報のビッグデータを活用した交通安全対策（ハンプの設置等）を推進します。

予算 2,381,565千円
(道路計画課)

通学路の交通安全対策



歩道整備

歩行空間の確保



路側のカラー化

交差点の交通安全対策



防護柵設置

車止め設置

ビッグデータを活用した交通安全対策



ハンプの設置

9 西鉄天神大牟田線の高架化 (雑餉隈駅付近)

ざっしよのくまえき



令和4年8月に高架切替

西鉄雑餉隈駅付近において、踏切による交通渋滞や事故を解消し、鉄道によって分断された地域を一体化するため、鉄道の高架化を進めており、令和4年8月に高架切替を行います。

予算 1,641,497千円
(雑餉隈連続立体交差課)



雑餉隈高架駅と高架橋



雑餉隈高架駅内部

特色ある事業：生活の質の向上

10 浸水対策の推進

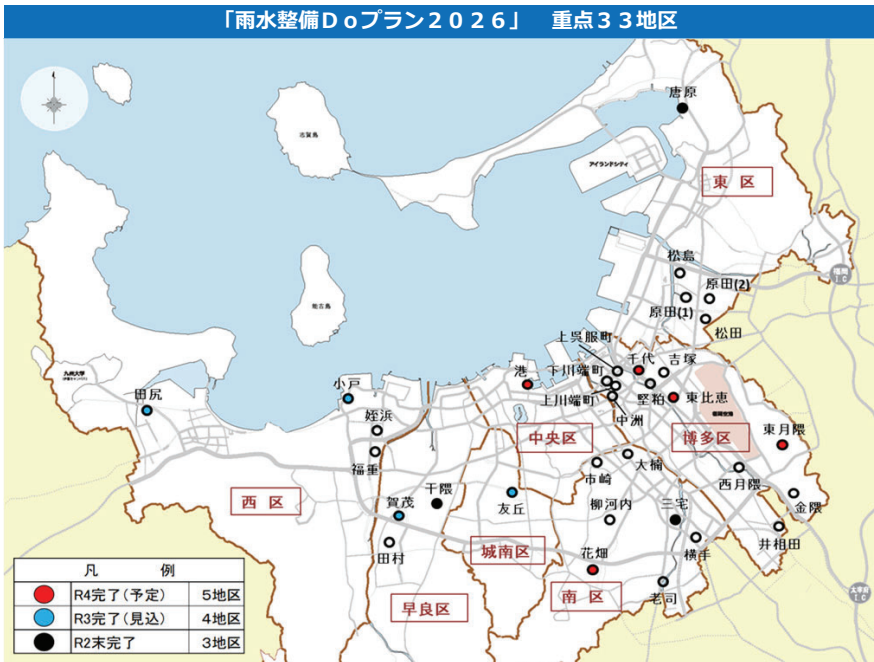


大雨に強い安全・安心なまちづくり

予算2,765,807千円
(下水道事業調整課、下水道計画課)

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできました。引き続き、重点地区を拡大し策定した「雨水整備D oプラン2026」に基づき、浸水対策に取り組めます。

また、気候変動の影響による将来の降雨量増加を踏まえ、整備水準の引き上げや新たに対策が必要となる地区を検討するため、下水道区域全域を対象とした内水浸水想定区域図の作成に着手します。



博多駅周辺地区（想定最大規模降雨）

11 治水対策の推進



治水対策の根幹である河川改修等の推進

予算 863,732千円
(河川計画課)

大雨による河川の氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図るため、護岸の整備などの河川改修や雨水の流出抑制を目的とした治水池の整備などを推進します。

河川改修

河道拡幅や地下河川整備等を行うことで、流下能力を向上させ河川の氾濫を防止します。

<令和4年度主な予定箇所>

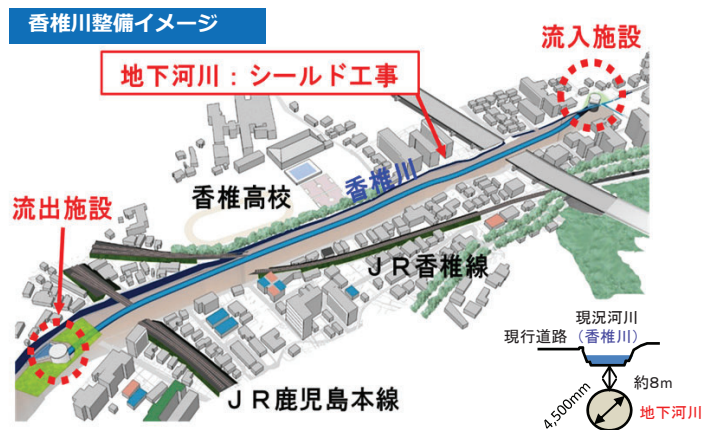
- ・香椎川（新規）
- ・周船寺川（継続）
- ・金屑川（継続）

治水池整備

豪雨時等に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入を軽減します。

<令和4年度主な予定箇所>

- ・源蔵池（測量・地質調査）（継続）



12 アセットマネジメントの推進



道路 河川 下水道

道路・河川・下水道施設の予防保全型の維持管理の推進

市民の安全で快適な生活に欠かせない、道路・河川・下水道施設の多くが、今後、老朽化等による更新期を迎え、膨大な更新費用が必要となるため、従来の事後保全型の維持管理から計画に沿った予防保全型の維持管理へ転換し、施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図ります。

道路のアセットマネジメント

5年に一度の定期点検結果等を踏まえた、予防保全型の修繕等を実施します。

- ・対象施設
橋梁、トンネル、横断歩道橋、アンダーパス 等

予算 3,721,737千円
(道路維持課)

橋梁補修

<補修前>



<補修後>



河川のアセットマネジメント

河川管理施設である護岸、排水機場及び水門などの老朽化に伴う更新費用の増大に対応するため、計画的な更新・修繕により、ライフサイクルコストの縮減や投資の平準化を図りつつ、施設の長寿命化を図ります。

予算 446,209千円
(河川計画課)

施設更新（博多区東比恵：上牟田川排水機場）

施設外観



下水道のアセットマネジメント

処理場やポンプ場の老朽化した設備などについて、予防保全型の改築更新を実施します。

また、下水管の埋設時期、管種及びTVカメラによる劣化状況調査などにより、改築更新を計画的・効率的に実施します。

特に、都心部は下水道整備時期が早いことから、重点的に取り組みます。

予算 14,254,682千円
(下水道事業調整課)

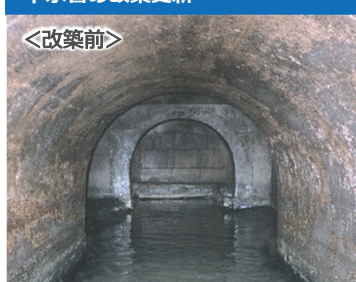
テレビカメラ調査

テレビカメラ



下水管の改築更新

<改築前>



<改築後>



▲古くなった下水管

▲内側から改築した下水管

13 再生可能エネルギー由来電力の利用推進【新規】



予算 35,733千円

(下水道経営企画課・自転車課・河川課・道路維持課)

使用電力の脱炭素化を図るため、都心部の污水处理を担う中部水処理センター（市内最大）をはじめ、駐輪場・排水機場など111施設の電力を再生可能エネルギー100%の電力に切り替え、温室効果ガス削減に貢献します。



再生可能エネルギー由来電力

《主な対象施設》



中部水処理センター



駐輪場

【中部水処理センター】

電力使用量（見込）：約2,000万kWh/年

CO2削減量（推計）：約6,600t-CO2

14 下水熱を利用した空調システムの導入【新規】



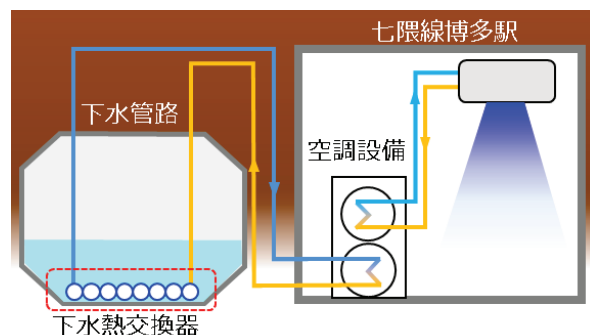
予算 一千円 ※
※交通局にて計上
(下水道計画課)

地下鉄七隈線博多駅に九州初導入（交通局との共同事業）

下水の水温は外気温に比べて夏は低く、冬は高いという特徴があり、また下水は常に流れがあるため効率的に採熱・排熱が可能です。再生可能エネルギーである下水熱を、給湯や冷暖房等のエネルギー源として利用することにより、省エネ・CO2削減に貢献します。

地下鉄七隈線博多駅においては、既存の下水管路内に下水熱交換器を設置し空調に利用することで、電力使用量を削減し、脱炭素社会に貢献します。

<令和5年3月利用開始予定>



下水熱の空調利用イメージ

15 再生可能エネルギー設備の導入検討【拡充】



予算 5,000千円
(下水道経営企画課)

下水道施設において、太陽光発電や下水バイオマス発電など、再生可能エネルギー設備のさらなる導入に向けた調査・検討を行います。



太陽光発電事例（西部水処理センター）



下水バイオガス発電事例（中部水処理センター）

ユニバーサルデザインに基づいた道路整備

(道路計画課)

全ての人が社会参加に向けて安全で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインに基づいた道路のバリアフリー化などを進めます。

- ・歩道のフラット化【①】や視覚障がい者誘導ブロック整備【②】の推進



博多駅筑紫口駅前広場の再整備



(道路計画課)

筑紫口駅前広場の機能を強化し、市民や来訪者にとって、さらに安全で使いやすい駅前広場にするために、リニューアルしています。ゆとりある歩行空間を創出し、バスやタクシーの乗降場までの経路に屋根を設置し、乗継ぎの利便性向上を図ります。

<令和4年夏完了予定>



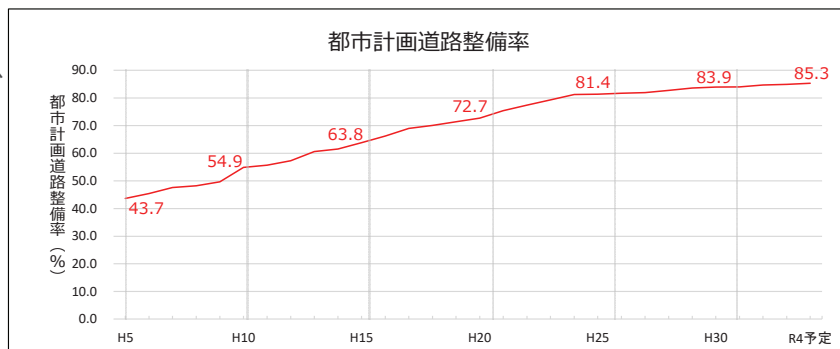
放射環状型の道路ネットワークの整備

(道路計画課)

人・物の広域交流連携を支える放射環状型の道路ネットワークの形成を図るため、都市計画道路の整備を進めます。

<令和4年度主な予定箇所>

- ・都市計画道路 長尾橋本線 (継続)
- ・都市計画道路 国道3号線 (継続)
- ・都市計画道路 野間屋形原線 (継続)



道路整備アクションプラン

1. 道路整備アクションプラン2024（R3～R6）の状況

項 目		令和2年度末 見込み (策定時)	令和3年度末 見込	令和4年度 事業量	令和4年度末 予定	令和6年度末 目標
生活関連経路のバリアフリー化された割合※1	%	91	93.9	0.9	94.8	99
整備延長	km	35.9	36.8	0.4	37.2	39.0
小学校周辺の歩車分離率※2	%	73	74.3	1.2	75.5	82
整備延長	km	258.4	259.9	4.1	264	288.8
自転車通行空間の整備延長	km	122	131.6	10.5	142.1	160
都市計画道路の整備率※3	%	84.7	84.9	0.4	85.3	86.1
都心部を回遊する歩行者量※4	人	41,310	37,655	—	—	46,000
無電柱化計画に基づく無電柱化整備延長	km	150	153.6	6.7	160.3	168
橋梁の長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕数	橋	175	192	15	207	234
道路照明灯のLED化率※5	%	86	87.5	0.6	88.1	95
LED照明灯数	基	32,845	33,288	211	33,499	36,151
地域が設置する防犯灯のLED化率※6	%	89	90	3	93	100
LED防犯灯数	基	39,125	39,585	1,349	40,934	44,193
市民等との共働による道路の保全活動団体数※7	団体	12	15	3	18	25

※1 バリアフリー化された延長÷生活関連経路全延長39.2km（直轄道路、臨港道路等除く）

※2 通学路を含む小学校から半径250mの道路のうち、歩車分離された延長÷全延長349.6km

※3 都市計画道路の整備状況（整備済延長：車道・歩道の両方が整備完了した延長）

項 目		令和3年度末 見込	令和4年度末 予定	前年比
計画道路延長	km	505.8	505.8	—
整備済延長	km	429.2	431.5	2.3

※4 天神と博多を結ぶ7つの橋の断面歩行者量の合計
（7:00～20:00、西大橋・福博であい橋・中洲懸橋・春吉橋・灘の川橋・住吉橋・柳橋）

※5 LED照明灯数÷市管理の照明灯数38,033基

※6 LED防犯灯数÷地域の防犯灯数44,193基

※7 道路サポーター制度の登録団体数

2. 令和4年度に供用開始する予定の主な路線

市道博多駅前線（祇園町）	L= 300m
市道博多駅春日原1号線（雑餉隈駅付近）	L= 280m
都市計画道路西鉄天神大牟田線側道20号線	L= 80m
市道千代今宿線（興徳寺橋）	L= 180m
主要地方道福岡志摩前原線（大字小田）	L= 640m

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）

1. 目的

踏切での交通渋滞や事故の解消を図り、鉄道により分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境を形成するため鉄道の高架化を行うもの。また、併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を高めるとともに、駅へのアクセス性を高め、公共交通の利用促進を図るもの。

2. 事業概要

事業内容	延 長	L=1,864m		
	区 間	博多区南八幡町二丁目 ～ 博多区西春町二丁目		
	除却踏切数	7箇所（うちボトルネック踏切5箇所）	立体交差道路	11箇所
	施行方法	仮線方式及び直上方式		
事業年度		平成22年度～令和7年度		
全体事業費		約415億円（福岡市負担約345億円、西鉄負担約70億円）		

3. 進捗状況

年 度	内 容
平成19年度	都市計画決定（平成20年3月24日）
平成22年度	都市計画事業認可（平成22年7月23日）基本協定締結（平成22年11月2日）
平成23年度	工事着手（平成24年1月）
平成26年度	新駅に関する都市計画変更（平成26年4月3日）
平成27年度	新駅に関する都市計画事業認可変更（平成27年7月3日）
平成28年度	仮線路へ切替（平成29年3月11日）
平成29年度	雑餉隈駅 仮平面駅 利用開始（平成30年1月27日）
平成30年度	筑紫通り（麦野跨線橋）仮設道路切替（平成31年2月10日）
令和2年度	事業期間に関する都市計画事業認可変更（令和3年3月26日）
令和4年度	高架切替及び筑紫通り供用（予定）
令和5年度	新駅開業（予定）

4. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率

（単位：百万円）

	令和4年度	令和3年度末	令和4年度末
事業費	1,641	32,646	34,287
進捗率(%)	—	94.6%	99.4%

事業内容

項 目	内 容
工事・補償	- 高架橋工事（令和4年8月高架切替予定） - 筑紫通り工事（令和4年9月供用予定） - 側道工事 等

5. 平面図等

●平面図



●現在の施工状況



●関連事業（福岡県施行連続立体交差事業）



福岡高速3号線延伸事業

1. 目的

福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化を図り、空港周辺道路の混雑緩和にも資するもの。

2. 事業概要

事業内容	路 線 名	福岡高速3号線			
	計画概要	規模(延長)	約1.8km (連結路約0.4kmを含む)	主たる構造	高架構造 地下構造
		車線数	4車線	道路の区分	第2種第2級
		設計速度	60km/h	JCT／出入口	豊ジャンクション (仮称)空港北ランプ
事業年度		令和3年度～令和12年度（予定）			
事業主体		福岡北九州高速道路公社（有料道路事業）			
概算建設費		約470億円（公社経費約62億円は含まない）			

3. 進捗状況

年 度	内 容
平成27年度	市道路線認定(平成28年1月14日) 福岡北九州高速道路公社 基本計画変更認可(平成28年3月28日)
令和2年度	都市計画決定(令和2年6月29日) 自動車専用道路指定(令和2年7月31日)
令和3年度	福岡北九州高速道路公社 整備計画変更許可(令和3年5月19日) 都市計画事業認可(令和3年7月12日)

4. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費

(単位:百万円)

	令和4年度	令和3年度末 (見込)	令和4年度末 (予定)
有料道路事業 (公社経費を含む)	2,160	680	2,840
市出資金(7.5%)	162	51	213
市貸付金(17.5%)	378	119	497
進捗率	—	1.3%	5.3%

事業内容

測量・設計・用地買収等

概要図

凡例
 既設福岡高速道路
 福岡高速 3 号線延伸

至 香椎
 遊水地
 大井 2 丁目
 空港前 1 丁目
 空港北口 交差点
 大字 下臼井
 至 太宰府
 榎田 1 丁目
 榎田 交差点
 東比恵 2 丁目
 吉塚 3 丁目
 吉塚 4 丁目
 吉塚 8 丁目
 豊 1 丁目
 豊 2 丁目
 豊 3 丁目
 豊 4 丁目
 豊 5 丁目
 豊 6 丁目
 豊 7 丁目
 豊 8 丁目
 豊 9 丁目
 豊 10 丁目
 豊 11 丁目
 豊 12 丁目
 豊 13 丁目
 豊 14 丁目
 豊 15 丁目
 豊 16 丁目
 豊 17 丁目
 豊 18 丁目
 豊 19 丁目
 豊 20 丁目
 豊 21 丁目
 豊 22 丁目
 豊 23 丁目
 豊 24 丁目
 豊 25 丁目
 豊 26 丁目
 豊 27 丁目
 豊 28 丁目
 豊 29 丁目
 豊 30 丁目
 豊 31 丁目
 豊 32 丁目
 豊 33 丁目
 豊 34 丁目
 豊 35 丁目
 豊 36 丁目
 豊 37 丁目
 豊 38 丁目
 豊 39 丁目
 豊 40 丁目
 豊 41 丁目
 豊 42 丁目
 豊 43 丁目
 豊 44 丁目
 豊 45 丁目
 豊 46 丁目
 豊 47 丁目
 豊 48 丁目
 豊 49 丁目
 豊 50 丁目
 豊 51 丁目
 豊 52 丁目
 豊 53 丁目
 豊 54 丁目
 豊 55 丁目
 豊 56 丁目
 豊 57 丁目
 豊 58 丁目
 豊 59 丁目
 豊 60 丁目
 豊 61 丁目
 豊 62 丁目
 豊 63 丁目
 豊 64 丁目
 豊 65 丁目
 豊 66 丁目
 豊 67 丁目
 豊 68 丁目
 豊 69 丁目
 豊 70 丁目
 豊 71 丁目
 豊 72 丁目
 豊 73 丁目
 豊 74 丁目
 豊 75 丁目
 豊 76 丁目
 豊 77 丁目
 豊 78 丁目
 豊 79 丁目
 豊 80 丁目
 豊 81 丁目
 豊 82 丁目
 豊 83 丁目
 豊 84 丁目
 豊 85 丁目
 豊 86 丁目
 豊 87 丁目
 豊 88 丁目
 豊 89 丁目
 豊 90 丁目
 豊 91 丁目
 豊 92 丁目
 豊 93 丁目
 豊 94 丁目
 豊 95 丁目
 豊 96 丁目
 豊 97 丁目
 豊 98 丁目
 豊 99 丁目
 豊 100 丁目

福岡高速 3 号線延伸
 福岡高速 2 号線との
 連絡路（渡り線）
 延長 約 1.8km
 連絡路 約 0.4km を含む
 既設「空港通」
 出入口
 空港通り
 豊 1 丁目
 豊 2 丁目
 豊 3 丁目
 豊 4 丁目
 豊 5 丁目
 豊 6 丁目
 豊 7 丁目
 豊 8 丁目
 豊 9 丁目
 豊 10 丁目
 豊 11 丁目
 豊 12 丁目
 豊 13 丁目
 豊 14 丁目
 豊 15 丁目
 豊 16 丁目
 豊 17 丁目
 豊 18 丁目
 豊 19 丁目
 豊 20 丁目
 豊 21 丁目
 豊 22 丁目
 豊 23 丁目
 豊 24 丁目
 豊 25 丁目
 豊 26 丁目
 豊 27 丁目
 豊 28 丁目
 豊 29 丁目
 豊 30 丁目
 豊 31 丁目
 豊 32 丁目
 豊 33 丁目
 豊 34 丁目
 豊 35 丁目
 豊 36 丁目
 豊 37 丁目
 豊 38 丁目
 豊 39 丁目
 豊 40 丁目
 豊 41 丁目
 豊 42 丁目
 豊 43 丁目
 豊 44 丁目
 豊 45 丁目
 豊 46 丁目
 豊 47 丁目
 豊 48 丁目
 豊 49 丁目
 豊 50 丁目
 豊 51 丁目
 豊 52 丁目
 豊 53 丁目
 豊 54 丁目
 豊 55 丁目
 豊 56 丁目
 豊 57 丁目
 豊 58 丁目
 豊 59 丁目
 豊 60 丁目
 豊 61 丁目
 豊 62 丁目
 豊 63 丁目
 豊 64 丁目
 豊 65 丁目
 豊 66 丁目
 豊 67 丁目
 豊 68 丁目
 豊 69 丁目
 豊 70 丁目
 豊 71 丁目
 豊 72 丁目
 豊 73 丁目
 豊 74 丁目
 豊 75 丁目
 豊 76 丁目
 豊 77 丁目
 豊 78 丁目
 豊 79 丁目
 豊 80 丁目
 豊 81 丁目
 豊 82 丁目
 豊 83 丁目
 豊 84 丁目
 豊 85 丁目
 豊 86 丁目
 豊 87 丁目
 豊 88 丁目
 豊 89 丁目
 豊 90 丁目
 豊 91 丁目
 豊 92 丁目
 豊 93 丁目
 豊 94 丁目
 豊 95 丁目
 豊 96 丁目
 豊 97 丁目
 豊 98 丁目
 豊 99 丁目
 豊 100 丁目

福岡空港

太宰府
インターチェンジ
方面

福岡高速2号線

国道3号
バイパス

福岡空港

地下構造部

福岡高速3号線延伸

博多駅・天神方面

自転車活用の推進

1. 福岡市自転車活用推進計画の基本方針（概要）

自転車通行環境の創出

基本方針：安全で快適な通行環境づくり

はしる

- (1) 安全で快適な自転車通行環境の創出
- (2) 安心して走行できる自転車通行空間ネットワークの形成

駐輪環境の整備

基本方針：利用しやすい駐輪環境づくり

とめる

- (1) 民間等との共働による利用しやすい駐輪場の整備
- (2) 駐輪場の利便性向上

自転車利用の適正化

基本方針：適正な自転車利用の促進

まもる

- (1) 適正な走行ルールの周知・徹底とマナーの向上
- (2) 安全・安心な自転車利用の促進
- (3) 放置対策の推進及び駐輪マナーの向上

自転車の活用

基本方針：自転車を活用したまちづくり

いかす

- (1) 自転車に親しむ機会の創出
- (2) 自転車を活用したまちづくりの推進

2. 福岡市自転車活用推進計画（R3～R6）の状況

成果指標			令和3年度末 見込	令和4年度 事業量	令和4年度末 予定	令和6年度末 目標
はしる	自転車通行空間 整備延長	km	131.6	10.5	142.1	160
とめる	駐輪場整備台数	台	368	300	668	1,000
	路上駐輪場 設置台数	台	4,828	▲200	4,628	4,500
まもる	自転車放置率	%	1.3	-	現状維持	現状維持 (令和2年 1.6%)
	保管自転車の 返還率	%	50.2 (令和2年度)	-	62	65

※局予算関連分を抜粋

3. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費

(単位：百万円)

区 分		令和4年度		令和3年度	
はしる	自転車通行空間整備関連	327		259	
とめる	駐輪場整備関連	1,699	420	1,545	411
	放置自転車対策関連		1,279		1,134
まもる		256		220	
合 計		2,282		2,024	

※「まもる」、「いかす」については別途他局予算あり

事業内容

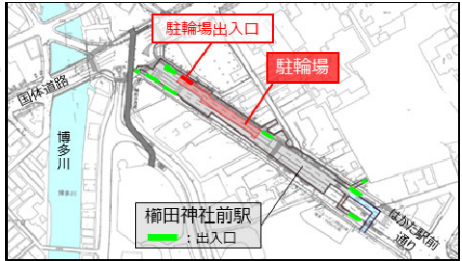
〇はしる ～自転車通行環境の創出～

(単位：百万円)

事業	令和4年度	事業内容
自転車通行空間の整備	327	自転車を安全かつ円滑に通行させ、また歩行者や自動車の安全を確保するため、自転車通行空間の整備を行う。 整備事例 〇市道博多姪浜線 〇市道博多駅草ヶ江線（住吉通り） 〇都市計画道路藤崎四箇線 など 

〇とめる ～駐輪環境の整備～

(単位：百万円)

事業	令和4年度	事業内容
駐輪場の整備	420	まちづくりの進展の機会を捉え、市営駐輪場の整備を行う。 〇地下鉄七隈線 櫛田神社前駅 駐輪台数：約300台 供用時期：令和5年3月（予定） 
駐輪場の管理運営	1,279	〇指定管理料等、施設修繕 など
計	1,699	

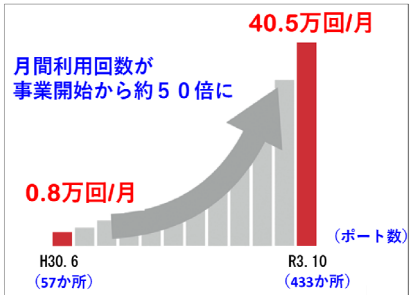
〇まもる ～自転車利用の適正化～

(単位：百万円)

事業	令和4年度	事業内容
放置自転車対策	236	〇撤去、保管所運営（10か所から7か所）、街頭指導 など
駐輪場利用啓発	15	〇市民啓発
その他	5	〇路面シート など
計	256	

〇いかす ～自転車活用の推進～

(単位：百万円)

事業	令和4年度	事業内容
福岡スマートシェアサイクル事業	-	利用者の利便性向上のため、事業者と連携してシェアサイクルポート（駐輪場）の開拓を行う。 〇シェアサイクルポートの充実（450か所から550か所） 

無電柱化の推進

1. 福岡市無電柱化推進計画（R3～R7）（案）

（１）基本的な方針

①取組姿勢・官民の役割分担

防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成等の観点から、道路管理者、電線管理者及び開発事業者等が連携し、適切な役割分担により、無電柱化を推進する。

②対象路線

無電柱化は工事や地上機器の設置場所等について、沿道住民等の合意形成が重要である。そのため、道路の整備・改良に合わせた事業実施を基本に、以下の道路について優先的に無電柱化を推進する。

<防災>

福岡市が管理する緊急輸送道路及び幹線道路等

<安全・円滑な交通確保>

福岡市バリアフリー基本計画における生活関連経路等

<景観形成・観光振興>

地域の特性を活かした良好な景観形成や観光振興のため、街並みや自然環境などとの調和を図り、地域の魅力を高める必要がある道路

<まちづくり等に合わせた無電柱化>

区画整理や開発行為等の面整備事業における道路

（２）無電柱化の推進に関する目標

①計画延長

計画期間中に工事着手する路線について、約48.9km[※]の無電柱化に着手する。

（単位：km）

対象路線	計画延長
緊急輸送道路及び幹線道路等	約34.4
福岡市バリアフリー基本計画における生活関連経路等	約2.8
街並みや自然環境などとの調和を図り、地域の魅力を高める必要がある道路	約2.5
区画整理や開発行為等において整備する道路	約13.8

※複数項目に該当する路線もあるため、合計とは一致しない。

②指標

国の計画目標を踏まえ、電柱倒壊リスクがある市街地等（DID地区）の緊急輸送道路の無電柱化着手率を34%（R2年度末）⇒45%（R7年度末）とする。

2. 令和4年度 事業費及び事業量

	令和4年度	令和3年度
事業費（百万円）	1,457	1,113
整備延長（km）	6.7	3.3

3. 令和4年度の主な整備箇所

（都）国道3号線（半道橋工区）

（市）清水干隈線（南区管内）

（主）志賀島和白線

<参考>

○整備事例

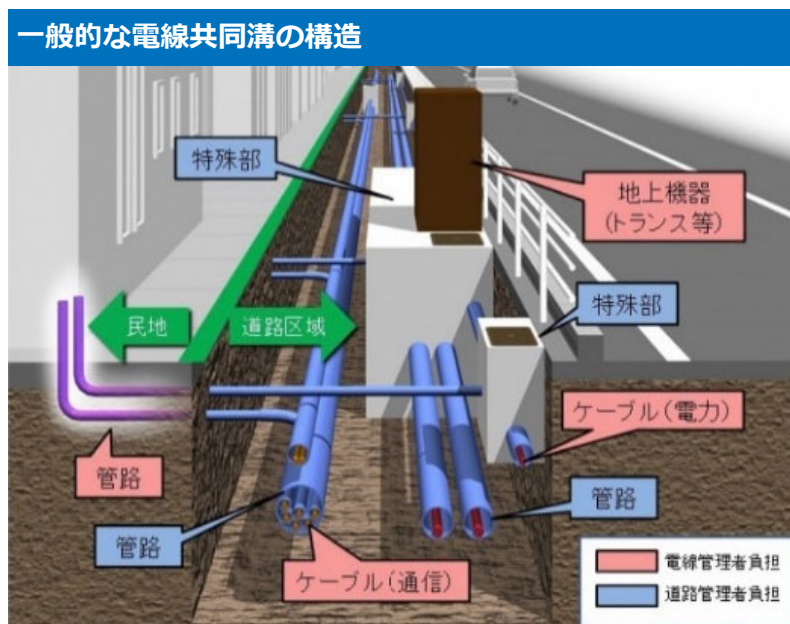


妙見通り（東区）



承天寺通り（博多区）

○電線共同溝のイメージ



交通安全対策

1. 目的

誰もが安心して歩ける歩行空間を確保するため、通学路等の交通安全対策を進めるとともに、車両走行情報のビッグデータを活用した事故防止対策（ハンプの設置等）等の交通安全対策を推進します。

2. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費

（単位：百万円）

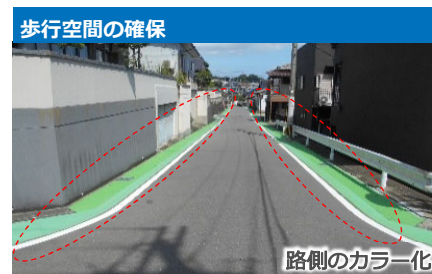
令和4年度	令和3年度
2,382	2,375

事業内容

施 策	内 容
通学路の交通安全対策 （令和3年千葉県八街市の事故を受けた交通安全緊急対策含む）	〈事業概要〉 「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、通学路の安全対策を進める。令和3年度に合同点検を行った154箇所については令和4年度に完了予定。 〈R4年度事業内容〉 歩道整備、車止め設置 等
令和元年滋賀県大津市の事故を受けた交通安全対策	未就学児園外活動経路の交通安全対策（事故後の国の通知を受けた対策） 〈事業概要〉 道路管理者が実施する要対策箇所227箇所については令和4年度に完了予定。 〈R4年度事業内容〉 歩道整備、路面標示・区画線、防護柵設置 等
	交差点の交通安全対策（市独自の対策） 〈事業概要〉 令和元年大津市の事故現場と類似した153箇所の交差点について、令和4年度に完了予定。 〈R4年度事業内容〉 防護柵・車止め・歩車境界ブロックの設置 等
歩行空間の確保による交通安全対策	〈事業概要〉 市民に身近な道路の安全性を高めるために、歩行空間の整備を進める。 〈R4年度事業内容〉 路面標示・区画線、防護柵設置、路側のカラー化 等
ビッグデータを活用した交通安全対策	〈事業概要〉 潜在的な事故を未然に防ぐために車両走行情報のビッグデータを活用し、「予防的対処」の事故防止対策を進める。 〈R4年度事業内容〉 車両走行情報を活用した交通安全対策（ハンプの設置等）の実証実験を実施 （東区：1箇所、博多区：1箇所、城南区：1箇所）

《参考》

○整備イメージ

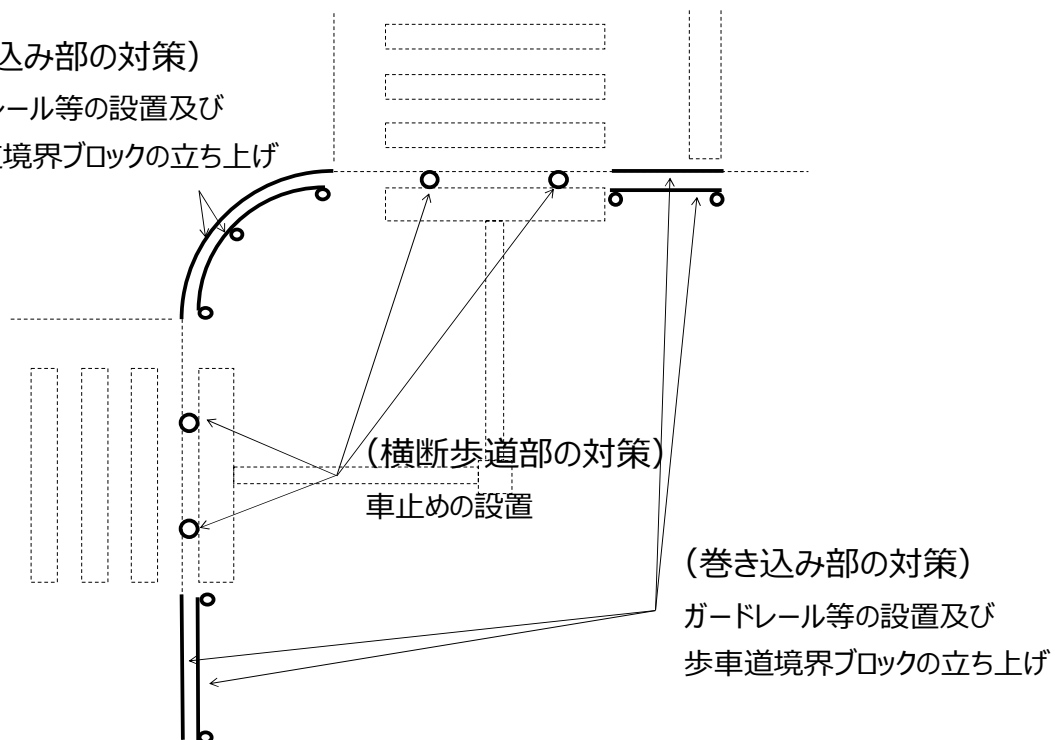


○交差点の交通安全対策（対策イメージ）

「横断歩道部」及び「巻き込み部」について対策を進める。

（巻き込み部の対策）

ガードレール等の設置及び
歩車道境界ブロックの立ち上げ



治水対策事業（主要な河川整備）

1. 目的

雨水排水の根幹である河川の改修を推進することで、大雨による河川の氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図る。

2. 事業概要

二級河川 (都市基盤河川)	河 川 名	周船寺川、水崎川、金屑川
	全体事業延長	16,805m
	全体事業費	約519億円
準用河川	河 川 名	若久川、香椎川
	全体事業延長	1,880m
	全体事業費	約66億円

3. 進捗状況

項 目	令和4年度 改修延長(m) (予定)	令和3年度末 改修延長(m) (見込)	令和4年度末 (予定)	
			改修延長(m)	改修率(%)
二級河川 (都市基盤河川)	42	12,627	12,669	75.4%
準用河川	0	0	0	0.0%

4. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率

(単位：百万円)

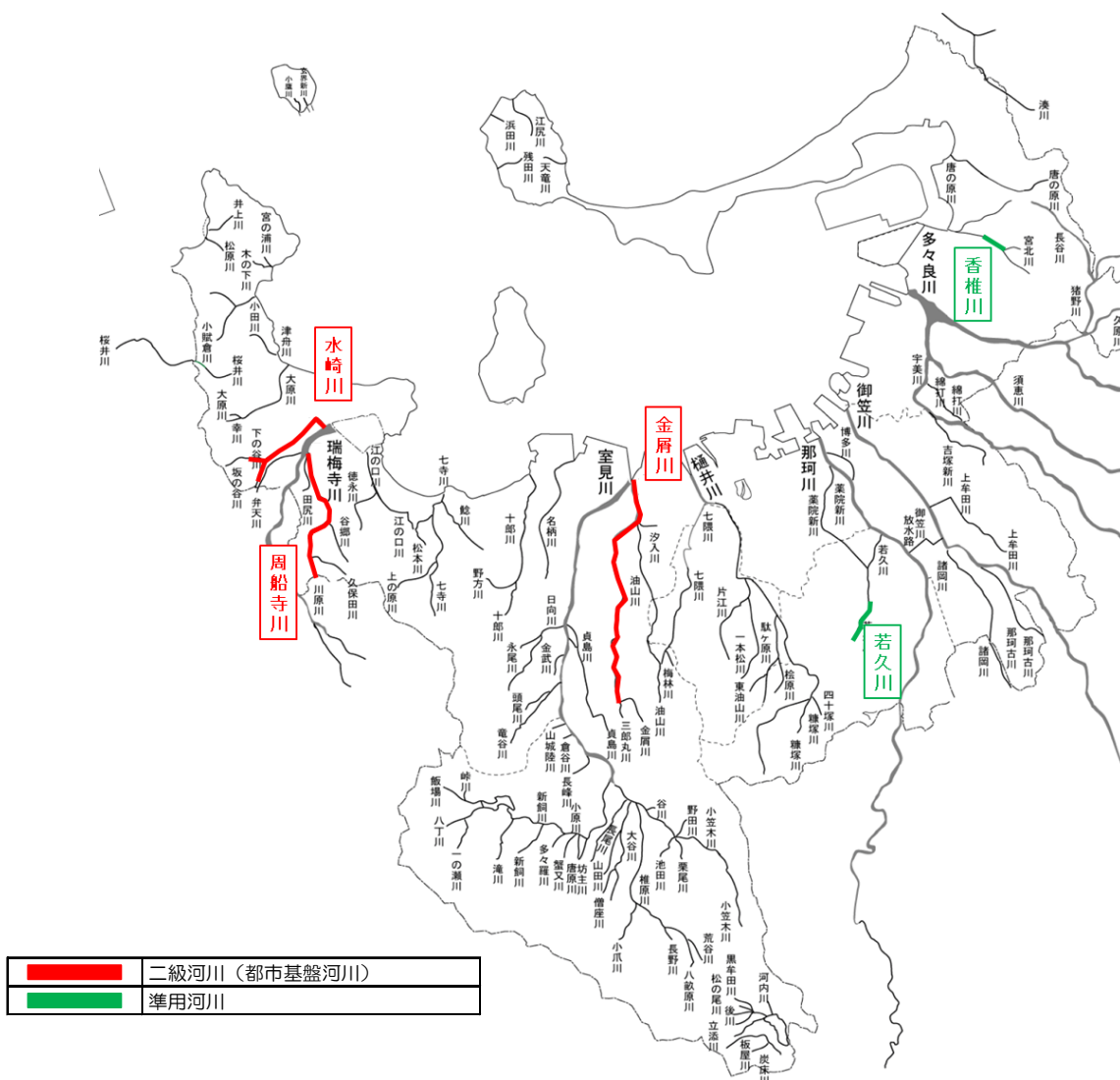
項 目		令和4年度	令和3年度末 (見込)	令和4年度末 (予定)
二級河川 (都市基盤河川)	事業費	183	44,291	44,474
	進捗率(%)	—	85.3%	85.6%
準用河川	事業費	222	350	572
	進捗率(%)	—	5.3%	8.6%

事業内容

項 目	内 容
二級河川 (都市基盤河川)	・周船寺川 護岸工48m、橋梁1橋、調査 等 ・水崎川 舗装工 ・金屑川 護岸工35m、補償
準用河川	・若久川 測量 ・香椎川 発進立坑築造

5. 位置図

治水対策事業河川



6. 各河川ごとの進捗状況

項 目		事業期間	令和4年度末 進捗状況（予定）					
			全体事業延長 (m)	改修率（対延長）		全体事業費 (百万円)	進捗率（対事業費）	
				改修延長(m)	改修率(%)		事業費(百万円)	進捗率(%)
二級河川 (都市基盤河川)	周船寺川	H13～R10	4,580	2,319	50.6%	15,569	10,975	70.5%
	水崎川	H10～R5	3,810	3,810	100.0%	10,360	10,116	97.6%
	金屑川	S46～R19	8,415	6,540	77.7%	26,000	23,383	89.9%
	合計		16,805	12,669	75.4%	51,929	44,474	85.6%
準用河川	若久川	H31～R9	1,160	0	0.0%	1,852	33	1.8%
	香椎川	H26～R7	720	0	0.0%	4,778	539	11.3%
	合計		1,880	-	0.0%	6,630	572	8.6%

下水道経営計画

1. 整備方針

下水道サービスを次の世代にも安定的・継続的に提供するため、老朽化施設の「改築更新（アセットマネジメント）」を最重点で進める。

また、災害に強い下水道の観点から、大規模な都市型水害への対応など、さらなる強靱化を図るため、「浸水対策」や「地震対策」を積極的に進める。

2. 下水道経営計画2024（R3～R6）の状況

施 策	指 標 名	単 位	過年度実績 (H29～R2)	下水道経営計画2024				令和8年度末 目標※
				令和3年度 事業量	令和4年度 事業量	令和4年度末 累計	令和6年度末 目標	
改築更新 (アセット マネジメント)	管 渠	km	101	35	37	72	140	314
	ポンプ場	箇所	43	3	1	4	13	63
浸水対策	雨水整備 D○プラン2026	地区	3	4	5	9	19	33
	雨水整備 レインボープラン天神	—	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 完了
地震対策	管 渠	km	121	6	6	12	26	121
企業債	企業債残高 (年度末残高)	億円	3,423	3,417	△ 89	3,328	3,223	3,201

※「福岡市下水道ビジョン2026」（H29策定）等の目標値

改築更新（下水道施設のアセットマネジメント）

1. 目的

下水道の役割を適切に果たし、市民の暮らしを支え続けるため、老朽化が進行する下水道施設の改築更新を計画的に進める。

2. 事業概要

基本方針	下水道施設のライフサイクルコストの最小化の観点から、適切な長寿命化を図るとともに、計画的な改築更新を進める。特に、施設の整備時期が早く、老朽化の進んだ都心部について重点的な改築更新に取り組む。
事業費	約650億円（下水道経営計画2024 令和3年度～6年度）

3. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

	令和4年度	令和3年度末 （見込）	令和4年度末 （予定）
事業費	14,260	16,110	30,370
管 渠	8,486	8,051	16,537
ポンプ場	709	1,694	2,403
水処理センター	5,065	6,365	11,430
進捗率(%)	—	24.8%	46.7%

事業内容

項 目	主 な 施 設 ま た は 箇 所
管 渠	37km：天神幹線、美和台、博多駅東、春吉、高宮、鳥飼、城西
ポンプ場	城西第2（電気）
水処理センター	和白（電気）、東部（機械）、中部（機械）、西部（機械）

浸水対策（雨水整備Ｄｏプラン2026）

1. 目的

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできた。令和元年度からは、重点地区（※）を拡大し策定した「雨水整備Ｄｏプラン2026」に基づき、引き続き雨水対策を進める。

※重点地区の定義：平成元年度から30年度までの期間に、1回の降雨で5棟以上の浸水被害が発生した地区

2. 事業概要

事業期間	令和元年度～令和8年度
対象地区	33地区
整備水準	59.1mm/hr（10年確率）
事業費	約70億円

3. 進捗状況

年 度	進 捗 状 況
令和2年度末 累計	完了： 3地区（唐原、三宅、干隈）
令和3年度末 （予算）	完了： 4地区（友丘、賀茂、小戸、田尻）
令和4年度 事業量（予定）	完了： 5地区（東月隈、東比恵、千代、港、花畑）
令和4年度末 累計（予定）	完了： 12地区
令和6年度末 累計（予定）	完了： 22地区

4. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

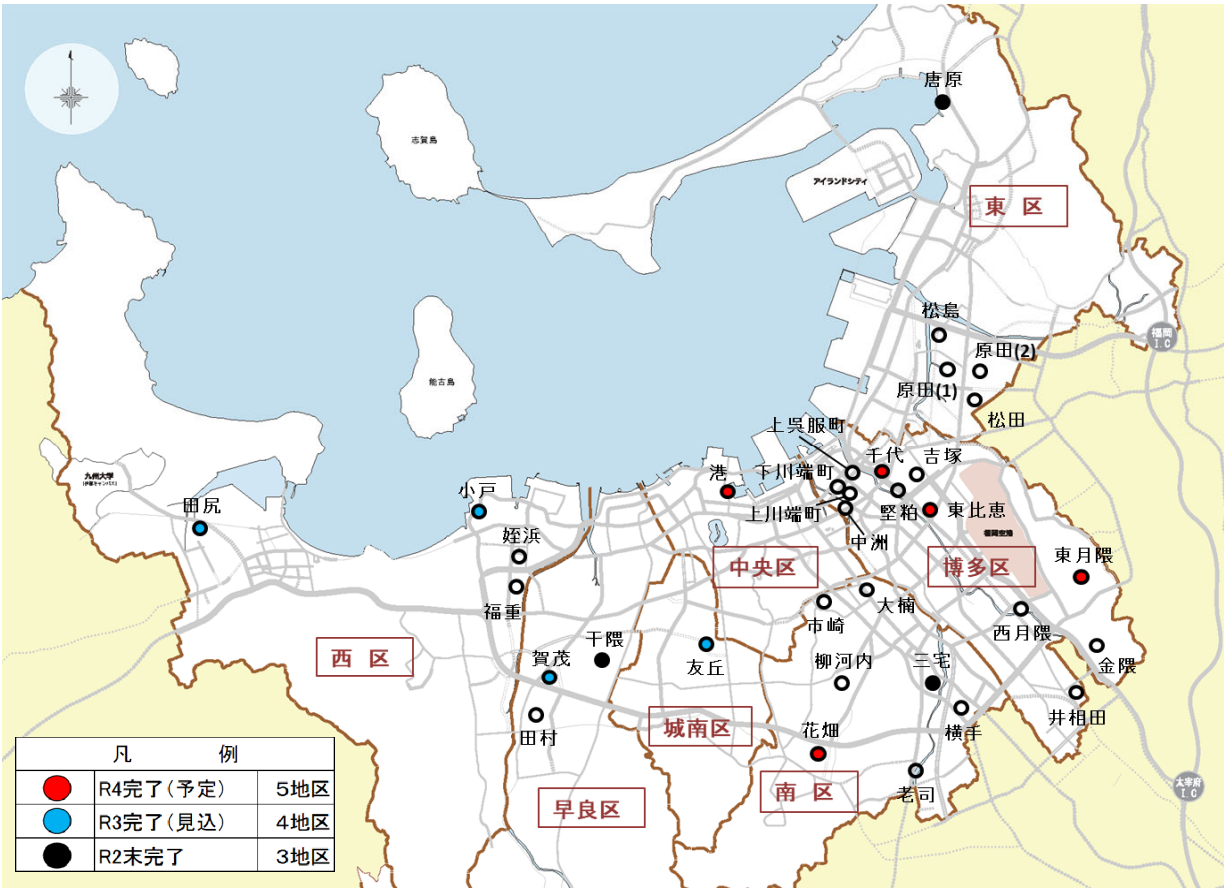
（単位：百万円）

年度	令和4年度 (A)	令和3年度末（見込） (B)	令和4年度末（予定） (A) + (B)
事業費	1,375	3,476	4,851
進捗率（％）	—	51.7%	72.2%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	月隈第10雨水幹線（博多区：金隈地区）

5. 重点地区の箇所図



(参考) 雨水整備D.プラン2026 重点地区の進捗状況

行政区	重点 地区数	着手 地区数	R2年度末 (実績)	完了地区（下水道経営計画2024）					R7年度以降 (計画)	令和4年度
				R 3年度 (見込)	R 4年度	R 4年度末 (予定) (A)	進捗率 (A) / (B) (%)	R 6年度末 (計画) (B)		完了地区 (予定)
東 区	5地区	5	1					4		
博多区	12地区	12			3	3	50.0	6	6	工事（東月隈、東比恵、千代）
中央区	1地区	1			1	1	100.0	1		工事（港）
南 区	7地区	7	1		1	1	25.0	4	2	工事（花畑）
城南区	1地区	1		1		1	100.0	1		
早良区	3地区	3	1	1		1	100.0	1	1	
西 区	4地区	4		2		2	100.0	2	2	
計	33地区	33	3	4	5	9	47.4	19	11	

浸水対策（雨水整備レインボープラン天神）

1. 目的

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水整備水準を引き上げて、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」により、浸水に対する安全度の向上を図る。

2. 事業概要

段階的に整備を進めており、平成30年度までに第1期事業が完了し、令和元年度から、第2期事業を実施している。

事業期間	令和元年度～令和8年度	（第2期）
対象区域	約180ha	（第2期）〔全体計画：約260ha〕
整備水準	59.1mm/hr（10年確率）	（第2期）〔全体計画：79.5mm/hr〕
事業費	約107億円	（第2期）

3. 進捗状況

年 度	進 捗 状 況
令和4年度 （予定）	中部6号幹線（新規）、中部8号幹線（新規） 中部9号幹線

4. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

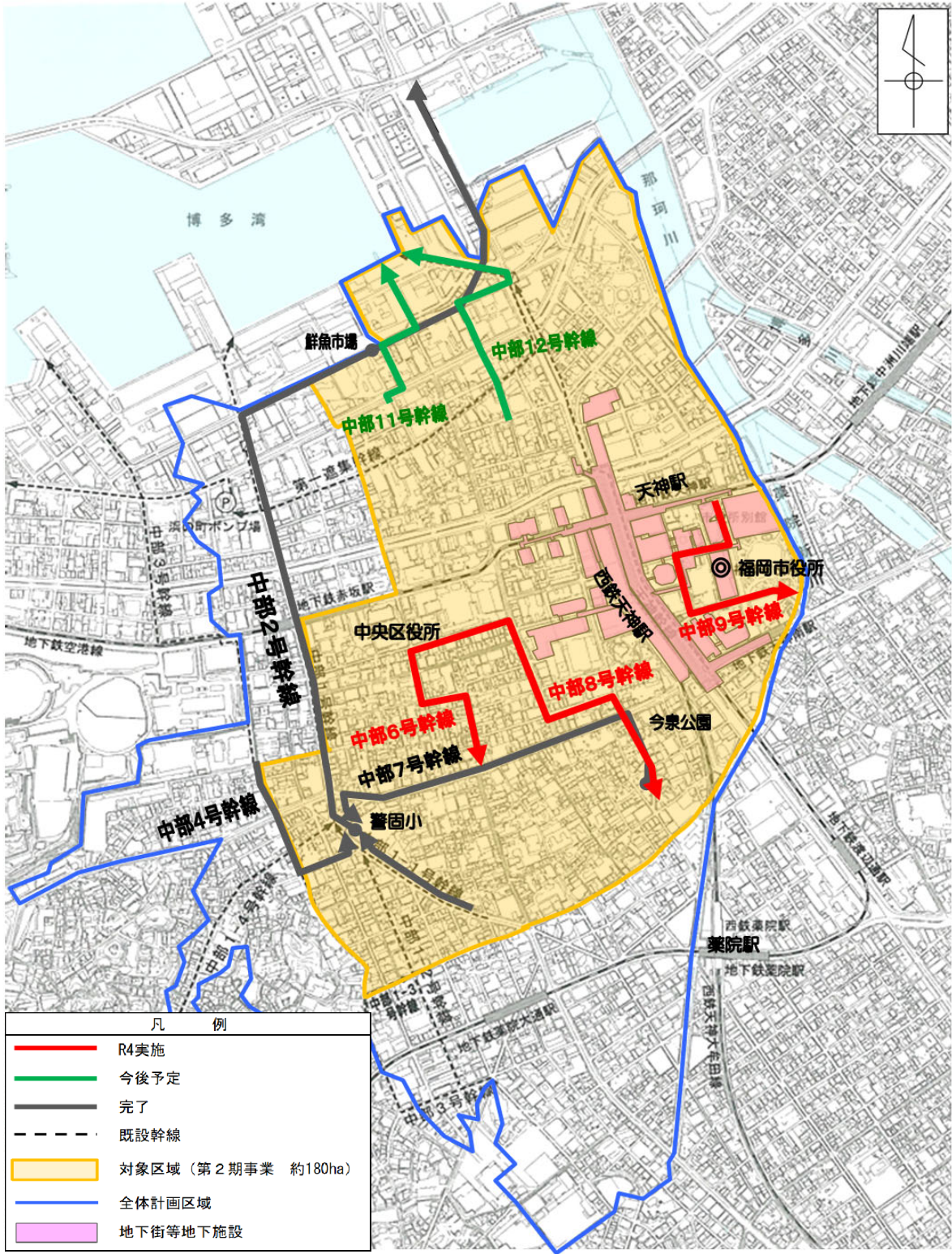
（単位：百万円）

年度	令和4年度 (A)	令和3年度末（見込） (B)	令和4年度末（予定） (A) + (B)
事業費	2,192	4,475	6,667
進捗率（％）	—	41.9%	62.4%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	中部6号幹線（新規）、中部8号幹線（新規） 中部9号幹線

5. 事業平面図



地震対策（下水道施設）

1. 目的

地震時における最低限の下水道機能を確保するため、施設の耐震化等を進める。

2. 事業概要

対 象	・緊急輸送路下などの重要な幹線管渠等（主に内径800mm以上） ・ポンプ場、水処理センター
事業費	約122億円（下水道経営計画2024 令和3年度～6年度）

※小口径管渠は、アセットマネジメント（改築更新）にて対応

3. 進捗状況

（単位：百万円）

年 度	令和4年度 事業量（予定）（A）	令和3年度末 累計（予算）（B）	令和4年度末 累計（予定）（A）＋（B）
管 渠	6km	6km	12km

4. 令和4年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

年度	令和4年度 （A）	令和3年度末（見込） （B）	令和4年度末（予定） （A）＋（B）
事 業 費	2,665	2,908	5,573
進捗率（%）	—	23.8%	45.5%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	塩原老司雨水幹線（新規）、七隈第4雨水幹線（新規） 和白唐の原汚水幹線
ポンプ場	筥松第2、鳥飼第2、草ヶ江
水処理センター	中部

（参考）道路現況、河川整備状況、下水道普及状況

○道路現況（市管理分）

（令和3年4月1日現在）

区分	道路		橋梁数
	路線数	道路延長（m）	
国道	3	30,764	25
県道	49	255,673	214
市道	22,490	3,588,192	1,791
合計	22,542	3,874,629	2,030

○河川整備状況

区 分	箇所数	全体延長（m）	令和4年度末（予定）	
			延長（m）	改修率（％）
二級河川 （都市基盤河川）	20	54,230	50,068	92.3
準用河川	25	49,670	39,001	78.5
普通河川	64	64,850	41,472	64.0
合計	109	168,750	130,541	77.4

※二級河川（都市基盤河川）とは、市域内二級河川（県管理）42河川のうち、市で改修を行うために指定した河川である。

○下水道普及状況

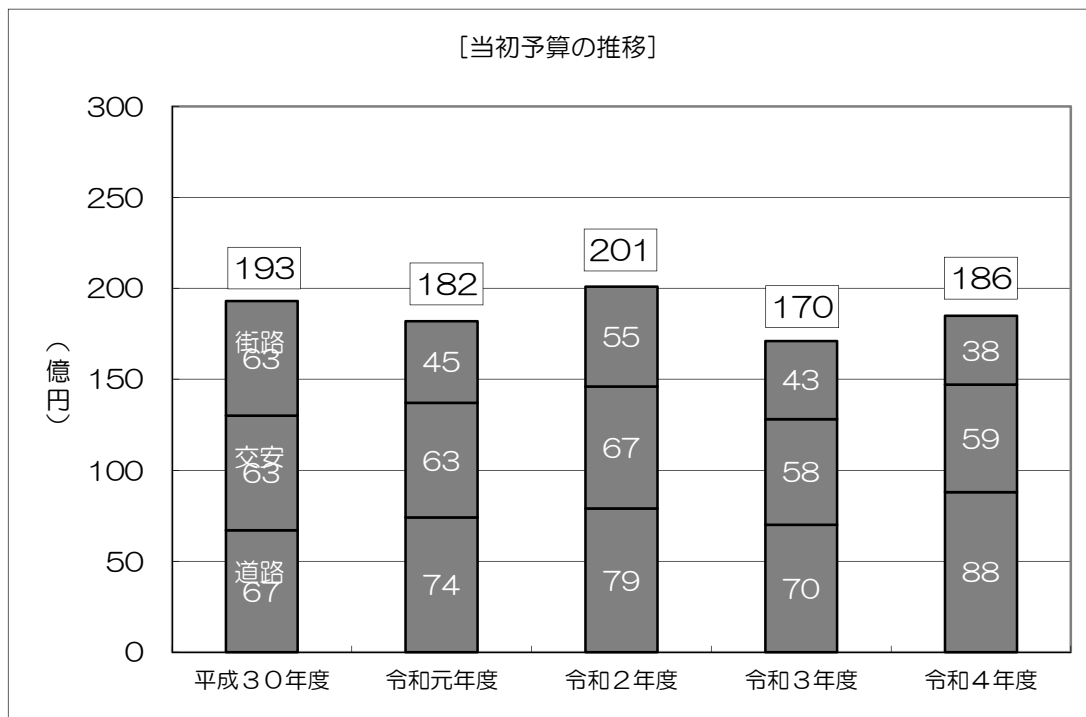
（令和3年4月1日現在）

処理面積	17,164ha
処理人口	1,610,700人
人口普及率	99.7%

※公共下水道は、99.7%で概成である。残る0.3%は、農業漁業集落排水事業等である。

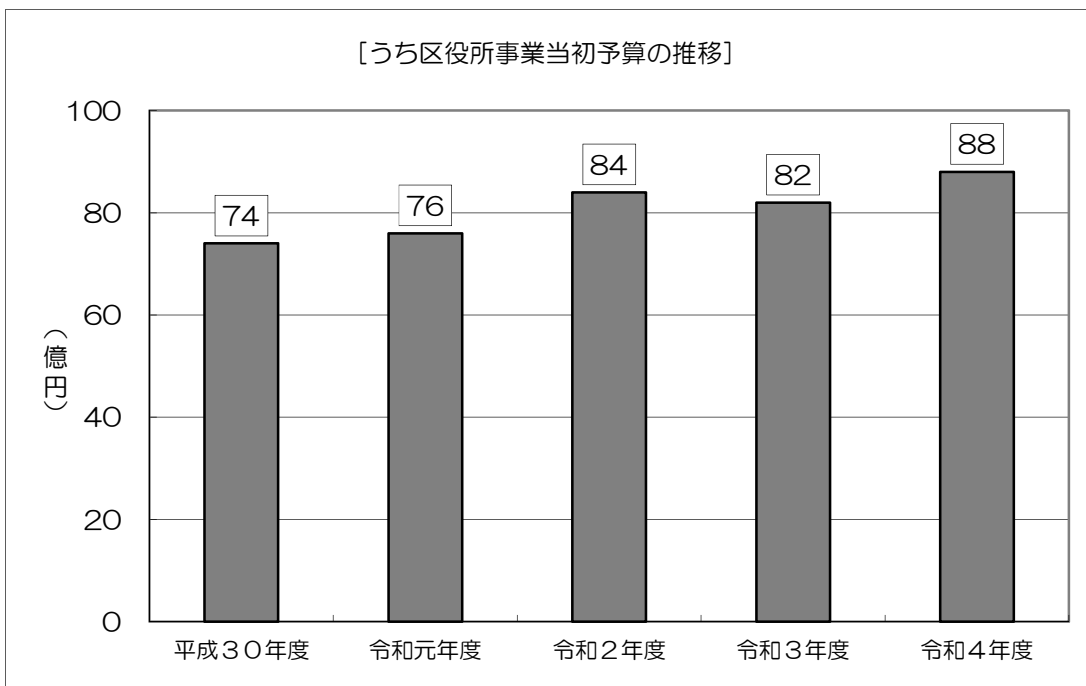
（参考）道路下水道局における整備予算の推移

1.道路整備事業

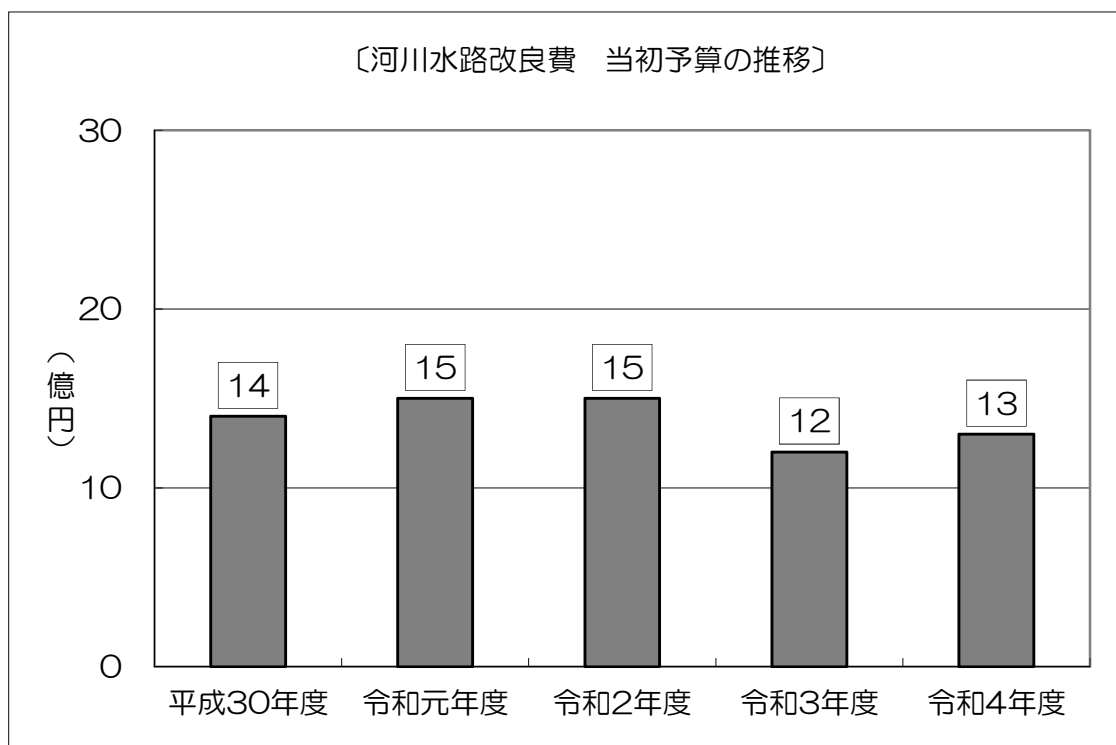


※道路新設改良費、交通安全施設等整備事業費、街路新設改良費の合計

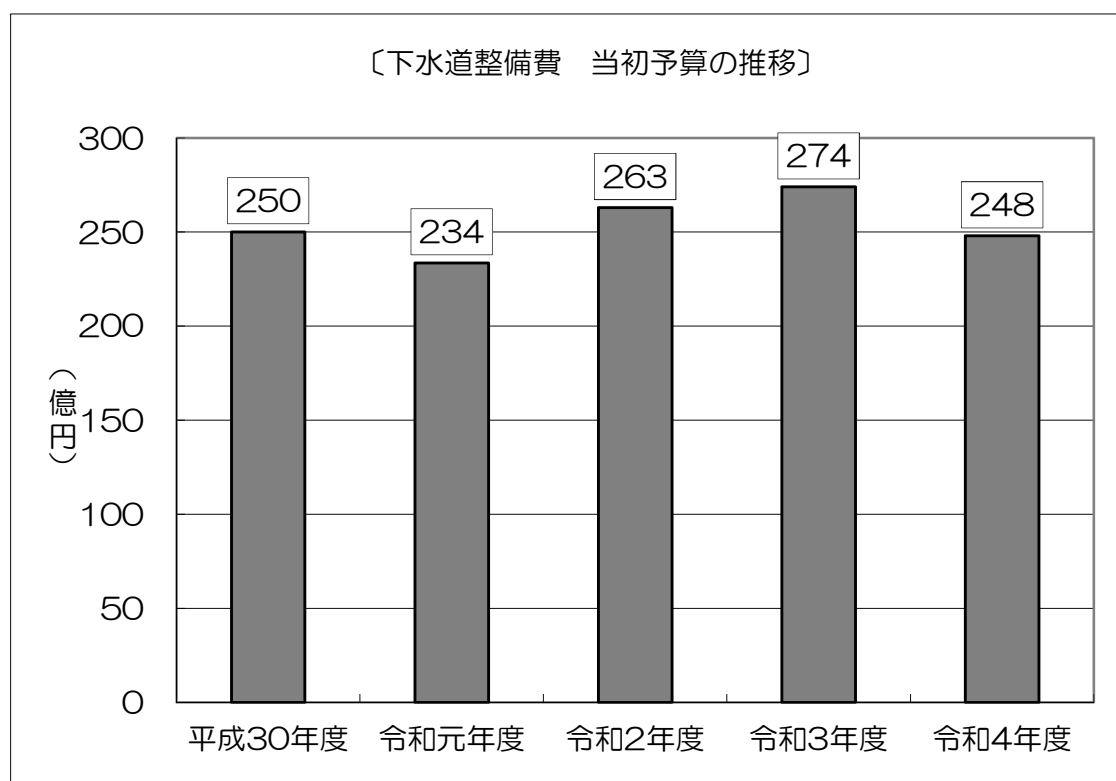
※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある



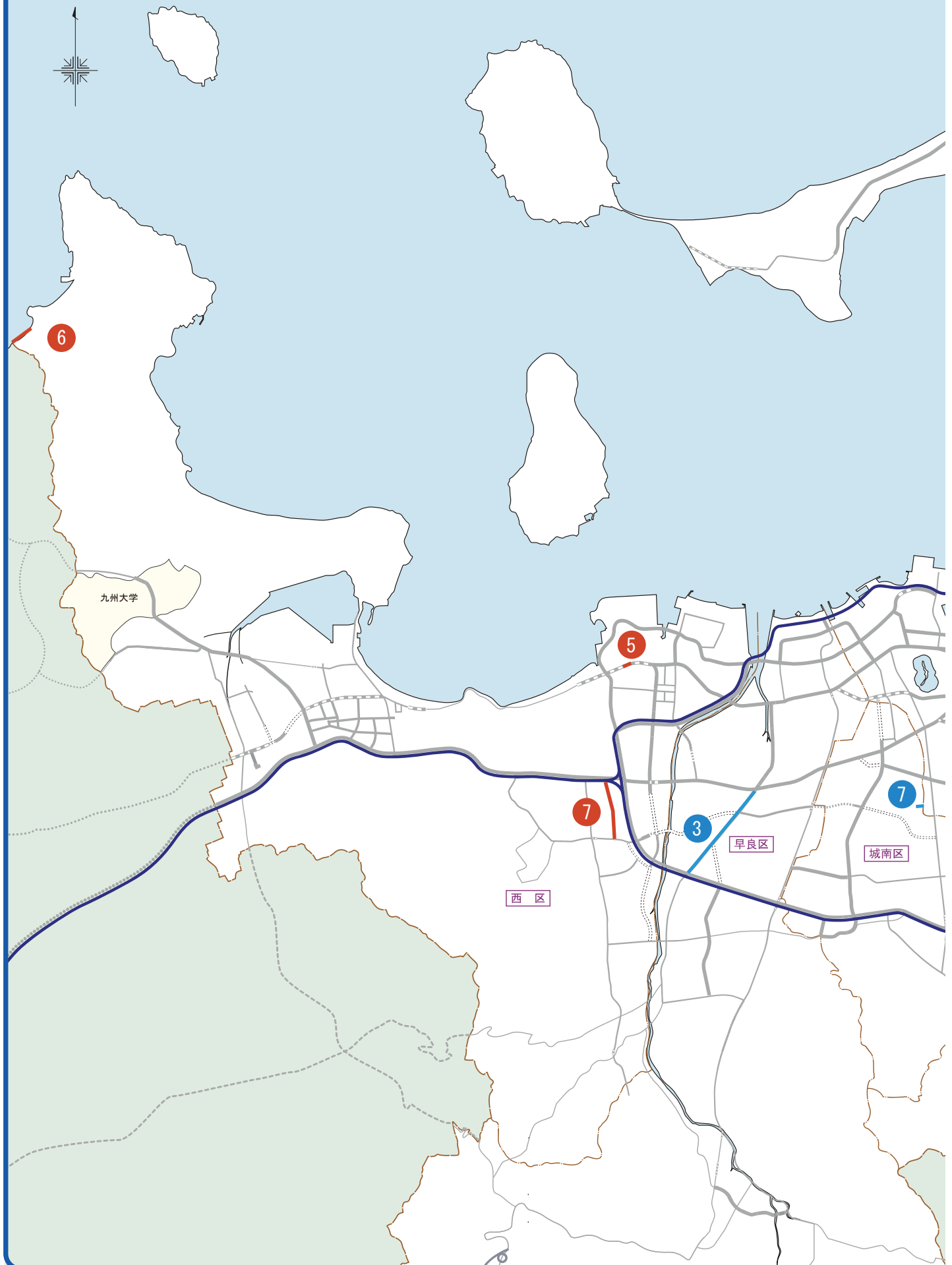
2. 河川整備事業



3. 下水道整備事業



令和4年度 主な新規着手・整備完了予定箇所





凡 例	
●	新規着手予定箇所
●	整備完了予定箇所

主な新規着手予定箇所

【道路】

区	路線名	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	事業延長 (m)	番号	備考
東	(都)松崎土井線	若宮5丁目 ～舞松原1丁目	9	12	870	1	拡幅整備
博多	(市)博多駅草ヶ江線	住吉3丁目	36	-	560	2	自転車通行空間
早良	(都)藤崎四箇線	原5丁目 ～次郎丸1丁目	25	-	2,000	3	自転車通行空間

【河川】

区	河川名	概要	番号	備考
東	香椎川 (地下河川方式)	○4,500mm L= 720m	4	治水対策

【下水道】

区	施設名	概要	番号	備考
中央	中部6号幹線 中部8号幹線	○1,800mm L=1,350m	5	浸水対策
南	塩原老司雨水 幹線(1)	□4,000×2,800mm L= 170m	6	地震対策
城南	七隈第4雨水 幹線(1)	○1,100～1,650mm L= 140m	7	地震対策

主な整備完了予定箇所

【道路】

区	路線名等	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	供用延長 (m)	番号	備考
博多	(市)博多駅前線 (祇園町)	祇園町	27	27	300	1	歩道拡幅 自転車通行空間含む
	博多駅筑紫口駅前広場	-	-	-	-	2	再整備(6,400m ²)
	(市)博多駅春日原1号線 (雑餉隈駅付近)	南本町1丁目 ～三筑2丁目	21	21	280	3	平面化
	(都)西鉄大牟田線側道20号線	春町1丁目	6	7	80	4	拡幅整備
西	(市)千代今宿線 (興徳寺橋)	姪浜5丁目外	11.5	15	180	5	橋梁架替整備
	(主)福岡志摩前原線 (大字小田)	大字西浦 ～大字小田	10.5	-	640	6	無電柱化 自転車通行空間

【河川】

区	河川名	概要	番号	備考
西	名柄川	遊歩道・親水階段等 L=1,000m	7	環境整備

【下水道】

区	施設名	概要	番号	備考
東	和白唐の原 汚水幹線(2)	○1,500mm L= 200m	8	地震対策
博多	月隈第10雨水 幹線(1)	○1,100mm L= 355m	9	浸水対策